

まちラボ新聞

vol.01
2024.4.1.発行

指定管理者

になりました

2019年から、まちづくり会館4階で「まち活拠点・まちラボ」を運営してきましたが、4月より会館の指定管理者として全館に広げていこうと考えています。

多様な市民・住民が集まって「まち」は出来上がっています。「まちづくり」も多様な人たちの関わりで行われるべきです。その拠点となる会館は、当然多様な人々によるごちゃ混ぜエネルギーに溢れる場所でありたいと思っています。「まち」を想う多様な考え・立場・世代の方々が集い、語り合い、活動を生み出していく、そんなまちづくり会館にしていきたいと考えています。

スタッフ一同、皆様と一緒に考えることを楽しみに来訪をお待ちしています。

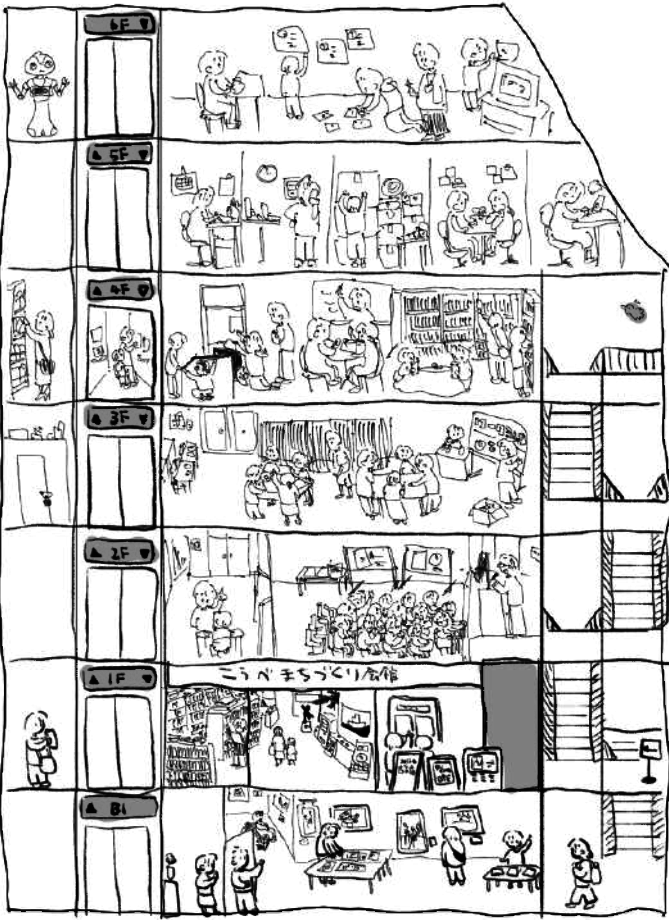
特定非営利活動法人 神戸まちづくり研究所
理事長 野崎隆一

理 事 長 野 崎 隆 一

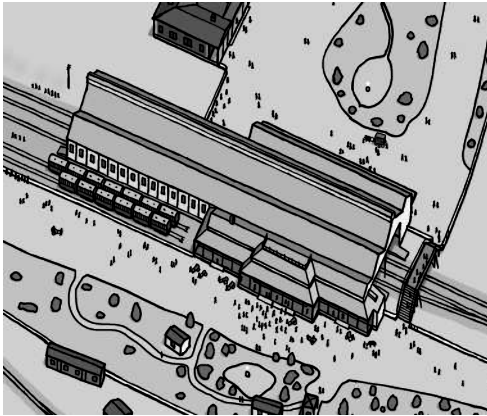


こうべまちづくり会館

1993年11月に、住民主体による、きめ細やかなまちづくり活動を支援する拠点として、オープンしました。阪神・淡路大震災直後には避難者を受け入れ、その後の復興まちづくりの支援拠点としても機能してきました。



今日の鳥瞰図



こんにちは。
鳥瞰図絵師の青山大介です。
本日は最新作の「神戸駅鳥瞰図 1874」の紹介をしたいと思います。
2024年5月11日は、神戸-大阪間に鉄道が開通して150周年になります。
挿画の建物は初代神戸駅舎です。現在の高架駅の場所とは違い、図中建物の左半分は国道2号の直下、右半分はハーバーランドセンタービルとホテルクラウンパレス神戸の位置になります。
初代駅舎は、イギリスから輸入した鉄製の円柱と鉄板の下見板貼り。

屋根材も波板鉄板が葺かれていました。乗車口・降車口が分かれていて、それぞれの出入口の行き来には駅舎に隣接した木造の跨線橋で行われていました。
2代目駅舎にバトンタッチするまで僅か15年と短命な駅舎となりましたが、我が国2番目の鉄道の歴史は、この神戸駅舎から始まった、と思うと愛おしく感じます。



これは、今から30年以上も前のことだ。今でも、可憐なさくら草を見ると、この時のことを思い出す。
そして、やっぱり、今でも、燦々と陽を浴びることができるよう、とたくさんの人が行き交うところに、さくら草を置いている、私がいる。

はなどるぼう、やーい...。
「日光浴中だったさくら草、帰りを待っています」
という張り紙を出して、あてもなく待っている。

「ワタシは、只今、日光浴中です。このまま、しばらくそうっとしておいて下さい」
という札をテープで貼って、地下から燦々と陽の降り注ぐ地上に置いた。人がいっぱい行き交う道の傍に。夕方、寒くなる前に迎えに行ってみると、さくら草は居なくなっていた。誰か花の好きな人が持っていったのだろうか...。と思いながらも、なんとなく諦めきれなくて、

「ワタシは、只今、日光浴中です。このまま、しばらくそうっとしておいて下さい」
という札をテープで貼って、地下から燦々と陽の降り注ぐ地上に置いた。人がいっぱい行き交う道の傍に。夕方、寒くなる前に迎えに行ってみると、さくら草は居なくなっていた。誰か花の好きな人が持っていったのだろうか...。と思いながらも、なんとなく諦めきれなくて、

花盗人

ふと、思った。
～街を思う、人を想う～



たび記

TABI Nikki

今月の旅人

まりりんもんろーさん

「最長片道切符」と呼ばれるきつぷがあることを皆さんはご存知だろうか。スタートは北海道の稚内駅、ゴールは長崎県の新大村駅で、日本国内に張り巡らされたJRの路線を最も遠回りになるように一筆書き（片道）で進む。この究極の乗り鉄に挑戦すべく、1月11日に稚内駅を出発した。

旅の思い出のひとつはやはり美しい車窓であろう。日本海、瀬戸内海、鳥海山、伊吹山など、車窓の見どころでは晴れ間を見せてくれることが多く、そんな絶景を眺めながら駅で買い込んだ弁当を広げるとこれ以上ない贅沢となる。

朝から晩まで列車のなかで過ごす日が多いので、乗客の会話や持ち物の服装を観察することで多様な地域性を感じることが楽しみのひとつであった。北海道では厚着の服



装、東北では全く聞き取れない会話などがそれである。特に地元神戸が近くにつれて、関西弁が聞こえ始めた時の安心感とはたまらない。東日本と西日本では都市の空気も違って、西日本のほうが大らかで人柄もあたたかいように感じた。

しかし、40日を超える旅なので何かとトラブルは多い。まず冬といえどやはり雪の影響である。3日目にはいきなり大雪で終日運休になり、本来通るはずの経路は泣く泣く断念。新潟県の糸魚川を通るころには同じ理由で2日間足止めとなった。もうひとつは疲労がピークに達するタイミングで首都圏の満員電車の洗礼を受けることになり、死にそうな顔で終電近い列車に揺られたこともあった。旅というが想像されるかもしれない



乗りつぶし路線図
2024.01.11-02.25



今回通った路線図

背景は、今回の旅の切符。

が、今回は旅というより「修行」ともいえよう。かくして苦楽どちらも味わいつつ42日間、乗った列車の本数はちょうど200本、ついに新大村駅に到着した。到着後、改札口で無効印を押された瞬間の言葉にできない感情は一生忘れることはないだろう。

スタッフを紹介します！

＼黒幕！／

御鷹が丘ケンタ さん

まちラボ勤務も、かれこれ5年目に突入しました。公共施設としては今までしなかったであろうことに、敢えていろいろと挑戦してきました。今年度から会館全体を見るということで、そんな可動域は広がるかと前向きに捉えています。時代と共に変わる価値観に足並みを揃えつつ、神戸を知る人も知らない人も、生暖かい眼で会館のこれからを見守ってください。

＼穏やか暖か／

とがわよしこさん

いつか神戸で働くことが夢でした。その願いが叶い今年3月、まちラボスタッフになりました。公共施設らしからぬ、堅苦しさのほどけた空間と瑞々しい感性でアイデア発信する若い世代の同僚に囲まれ、良い意味のカルチャーショックシャワーを浴びる刺激的な毎日です。これからどうぞよろしくをお願いします。

＼ワヤ！／

辻信一 さん

神戸生まれ神戸育ち、元町商店街界隈は半世紀以上前からうろついています。囲碁1.5段、ギタリスト、神戸地図研究会、ワークショップパー、みなのもり公園運営会議などいろいろ遊んでいます。最近では歴史的なことを掘り起こすことに興味を持っています。まちづくり会館では、専門的な立場でまちづくり活動支援にあたりたいと思います。

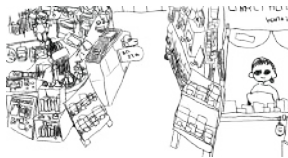
＼マイブームは石拾い／

いまじはるの さん

実は年少さんまで神戸市民でした！大学から神戸に戻ってきて早7年？くらい、商店街に興味があってこっちにきたらトントン拍子にびったりな職場が決まってしまい、逆に人生が見えなくなってきました。誰も夢が叶った後のことは教えてくれないもんな。でももう少しこのまちにいたいなと思っています！よろしくをお願いします！

ふんわり絵日記

- 2024.1~3 -



2
月はチャイ屋さん、お天気の会が盛り上がりました！知り合いみんなにきてね！って言えるイベントをまちラボでもつくりたいです。商店街のアーケードも開けました！



1
月はあいウィーク！バタバタの中でしたが、まちづくりや防災などに関わる皆さんの熱を再確認して、まちラボももっと頑張らなきゃ！と思いました。絵はスナック復興の一幕。

3
月は模様替え。今までのレイアウトもよかったなと思って描きました内装は変わっても雰囲気はそんなに変わらないうえ、ココロも変わっていくさまも楽しんでいってね！



4月のイベント

29日 ブラジル音楽の宴

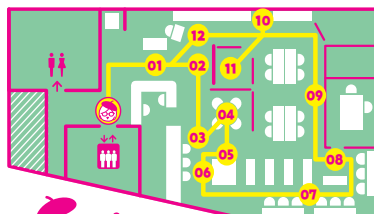
5月のイベント

5日 4丁目の子ども落語

その他未定！

4F でごめんね

4F にはまちラボっていうコミュニティスペースがあるよ！
まちづくりに関係する図書がたくさんあります！上がってきてね。



ちゃん2の
微し存マップ



- 01 エントランス
- 02 マガジンラック
- 03 カフェテリア
- 04 ミーティングステーション
- 05 新着図書コーナー
- 06 秘密基地
- 07 閲覧スペース
- 08 ラジオブース
- 09 フリースペース
- 10 川柳ポイント
- 11 莫産の間
- 12 図書カウンター

- Wi-Fi ○
- コンセント ○
- 飲食自由
- 作業 OK
- おしゃべり OK
- イベント OK



まち研 昼呑み 担当

マコリンお薦めのお店

元町商店街3丁目「魚天」

まちづくり会館から歩いて8分。コロナの時期の昼呑みによく行きました。常時10種類以上の地酒があり、季節によって銘柄が変わるのもまた楽し。少し酸味のある夏酒が私のお気に入り。料理も美味しくて、お店の名前にもなってる各種魚料理は間違いない。



元町通2丁目「酒ノケル」

元町商店街のみとっ北側の筋にある。日曜は13時、それ以外は14時から。土日は大型テレビで競馬中継。競馬ファンが集まるお店のみとっ。こども地酒が充実。1合が安く飲めるのでコスパ良し。料理も種類が多くて美味しい。スタッフも愛想が良くて心地よし。



気まぐれ図書



神戸の伝説 新装版
田辺真人著
神戸新聞総合出版センター
まちラボ図書分類
(A06-16)

今回選書して
くれたのは→



まちラボ図書の貸出記録で断続的に読み継がれている1冊。〈伝説考〉〈伝説拾遺〉に大別されたこの本は、神戸の地名にまつわる言い伝えが明快な文章で表現されている。構成は各区ごとに分類、どの章も2〜3頁ほどの分量で簡潔にまとめられている。

スキマ時間に好奇心の赴くまま読み進めば、地元の意外なルーツを知ることが出来るかも。また〈伝説考〉の文末は目的地への交通アクセスなども記されている。路線図や地形が思い浮かぶ人は彼の地へ思いを馳せることが出来るかもしれない。コーナー所蔵の地図を脇に置き、まちラボの空間で気長に読み耽るのも良い。本と地図をお供にぶらり現地へ向かうことが出来たら、それはナント幸せなことか。

生活スタイルに合わせて様々な楽しみ方を可能にする1冊。是非まちラボ図書コーナーで手に取り読みに来てください。

編集後記

編集後記って編集した人が書くものだと思うんだけど、編集後記という原稿依頼があったのでキーボードに向かう浅見です。

晴れて神戸まちづくり会館の運営責任者となりました。実は館長よりエリアヒトです。(仕事がエリアだけというウツサもあります(笑))

これから、これまでの「まちラボ」だけではできなかったことを実現しつつ、「まちラボ」もさらにパワーアップして、神戸市内のまちづくり活動がすくすく育つ、良い土壌にしていきたいと思っています。

まずはみなさんに訪れていただくことを目標に頑張ります。みなさんどうかよろしくお願ひします。

神戸まちづくり研究所より

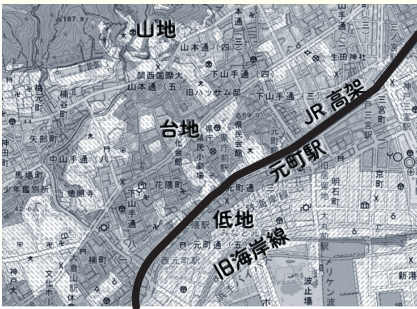
特定非営利活動法人神戸まちづくり研究所は、地域でまちづくり活動を行う個人や団体に対する支援を行うとともに、まちづくりに関する調査・研究及び政策提言を行い、地域住民の住みよいまちづくりに寄与することを目的とする。

地図に見る 元町界隈の変遷①

辻 信之

神戸の市街地を含む六甲南麓の平地は「東西に細長い」とよく言われますが、その細長さは一樣なものではなく、西宮の夙川付近から須磨一の谷付近にかけて徐々に狭まっています。その中で、元町商店街付近（諏訪山〜海岸）では、台地がせり出して海岸に迫り低地の幅が狭いという地形的な特徴を見せています。この台地の端はJR元町駅の山側や花隈公園で、古代から周辺の東西交通の隘路となつています。現在でも花隈公園下から旧海岸線までの約400mの間に、JR・国道2号・阪神高速道路等の国幹線が集中しています。

この隘路にある元町商店街は、国道2号の前身である、かつての西国街道であったことはよく知られていますが、先述の地形的特徴から必然的に「街道」がこの場所に作られたのでした。この立地条件を活かしたまちづくりが望まれます。「元町」の名称は150年前の1874年につけられました。同じ年に鉄道が開通して今の元町駅の位置に三ノ宮駅が設置され、まちの発展が始まったのでした。



こうべあいウィーク2024

小林郁雄

あいウィークは昨年2023年から、あいウィークにあわせて阪神大震災祈念の催しを1・17前後に、こうべまちづくり会館の全館で展開しております。

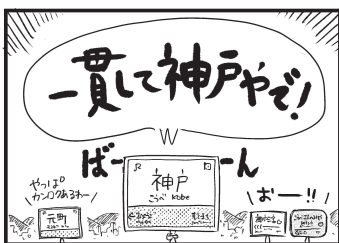
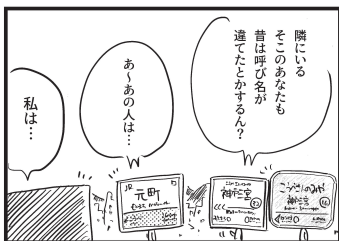
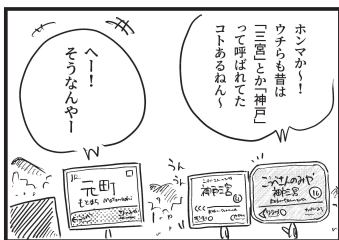
あいウィークとは、1995阪神大震災の1・17直前の日曜、NPO神戸まちづくり研究所を中心に、長田区の被災地を案内人と要所での説明を地元関係者に聞きながら自ら歩くチャリティウィークで、1999年に始まったが一時中断、2009年に再開し2024年も最取・大国公園から新長田・ふたば学舎までのコースを歩いた。

こうした伝統行事だけでなく、すっかり忘れられようとしている阪神大震災と復興の記憶と記録を、震災30周年を間近に改めて伝承していくために、特に被災地神戸の中心にあるこうべまちづくり会館で神戸市行政とも協同して、1・17前後に市民中心とした有志による多彩な催しを展開するものです。

2024年のあいウィークは、展示としては、地下ギャラリーでの「神戸の三災／水害・空襲・震災」展示をメインに、震災資料室、海辺の写真展。催しとしては、1/14にKOBEまち大2023震災大討論会、防災脱出ゲーム、1/15に神戸震災の痕跡を尋ねて、関東大震災記念公演、模型づくりワークショップ、震災とオリックス、1/16に今こそ神戸から伝えられること、昭和の元町商店街を歩こう、といったさまざまなイベントが、さまざまな市民組織などによって行われた。さらには「まちラボ」イベントとして、ふっこうラボ、非常食d e お弁当、スナック復興といった飲食もしなる交流も楽しく行った。

あいウィーク2025は、来年阪神・淡路大震災30周年を期して、これまで以上の規模と期間と市民主体の催しとすることを、NPO神戸まちづくり研究所・まちラボ、神戸市が一致協力して、進めて行きたい。

次は～ 駅名ちゃん！



特に意味のないスクロールバー

今回の執筆者紹介



表紙挨拶

野山崎隆一

地域に風を起こそう！
会館を台風の目にしよう！



たび日記

まりりんもんろー

神戸で生まれ育った旅人。春から遠く離れた会津で山籠りです。



今日の鳥瞰図

青山大介

初代神戸駅の鳥瞰図はAノ商品になるかも！？乞うご期待！！



気まぐれ図書

戸川由子

元町界隈の街路樹は春を告げるモクレンが一気に咲きました。移ろう街の景色に心浮かれています。



マコリンお勧めのお店

三谷真

元大学教員。コロナで生活スタイルが激変し、息呑み専門に。9時就寝5時起床の超健康生活を実践中。



ふと、思った。

～往々思う、人を想う～

潮崎孝代

街を歩いていて、ふと心に響いたことをつぶやくように綴ってみたいなあ、と思います。



こうべあいウィーク 2024

小林郁雄

長老。ご意見番でなく、過去対応お老人。イラストは30年ほど前のおさないまこと作。



地図に見る元町界隈の変遷①

辻信一

自称：ギター、乗り鉄、SF、囲碁、Bグル、まち歩きの人



次は～ 駅名ちゃん！ 御鷹が丘建太

北陸新幹線の敦賀延伸が1ミリも嬉しくない！って関西人になった何よりの証ですね。北陸は遠くになりにつけり。



編集後記

浅見雅之

楽しくてためになるまちづくり会館を目指します。よろしくです。

まちラボ新聞 vol.1

発行：まちラボ

編集：まちラボ

印刷：レトロ印刷

ご意見ご感想その他何かあれば下記まで

→ kobe.machi.labo@gmail.com

6F 会議室

大小選べる！
設備：スクリーン、モニター、ホワイトボード等

5F ワークスペース

月極ワークスペース！
・住所登録、登記も可能。
詳しくは神戸市HPで

4F まちラボ

基本無料のコミュニティスペース！
設備：wi-fi、コンセント、飲食、おしゃべり可！
まちづくり関係の図書の貸出も

3F 多目的室

広く自由に使えます！
設備：スクリーン、プロジェクター、マイク等
ワークショップや大勢での会議に。

2F ホール

ホワイエも使えるよ！
設備：上から出てくるスクリーン、プロジェクター、音響
大きな鏡があるのでダンス練習もできます。

1F みなと古書店

近隣の古本屋さんが大集合！
・神戸市からの案内やギャラリー情報、自販機、
館内のイベント情報など、まずはここから！

B1 ギャラリー

広くて立派で豊か増えるよ！！
設備：壁面 S2m、吊り下げ用のラインコードも完備
予約は1年前から可能です！

こうべまちづくり会館の貸館案内

まちづくり会館では、B1 ギャラリー、
2F ホール、3F 多目的室、6F 会議室
の貸出をしています！

まちづくりに関わることであれば
使用料の減免申請も可能です。

どの部屋も朝9時30分から
夜21時まで予約可能です。

申し込みは会館HPから！



4F に 有料 コーナーができます！

NUMA

見せびらかしたいものを見せび
らかすスペース、月極で借りら
れます。ハマってる沼、みんな
に見せびらかそう～



RADIO BOOTH

待望の配信・録音系のスペース。
ここは時間貸しの予定です。ラ
ジオ配信や撮影にどうぞ。配線
や設営のお手伝いもできます！



SEMINAR

大手を振って参加費徴収しても
開催できるようになります！
やったね！使い方は変わらず自
由。まずはお声掛けください！



アクセス

●JR・阪神「元町駅」西口より徒歩約10分、●阪急「花隈駅」、阪神「西
元町駅」より徒歩約5分、●地下鉄海岸線「みなと元町駅」より徒歩約3分。
こうべまちづくり会館4階（1階に古書店さんが入っている建物です）
※専用駐車場はありません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

神戸市立こうべまちづくり会館

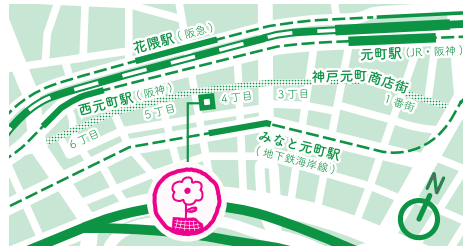
〒650-0022 兵庫県神戸市中央区元町通 4-2-14（受付は4Fまちラボ）

☎ 078-361-1550 ✉ kobe.machi.labo@gmail.com

開館時間 | 9:30～*18:00 休館日 | 水曜日・年末年始（12/28～1/4）

* 貸館使用時間は最長 21:00 まで。緊急事態宣言などで閉館時間が変動する
場合がございます。ご集館の際にはHPやSNSで最新情報をご確認ください。

指定管理者 | 特定非常利活動法人 神戸まちづくり研究所



Instagram



Twitter



Facebook



Youtube

